

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	子ども支援地域活動Ⅱ				授業形態	演習			
科目コード	750045	単位数	1単位	配当学年		実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	宮内 孝							ICT活用	○
授業概要	<p>「子ども支援地域活動Ⅱ」では、子ども支援地域活動Ⅱにて学び・体験したことを基に、子どもの育ちにおける地域活動が果たしている役割を学ぶとともに、地域活動のファシリテーターとしての更なるスキルの向上を目指します。</p> <p>授業では年間を通して、学内での事前事後指導と、学内外での活動を往還することで、教育学の専門性を伴った実践的な能力の育成を図ります。</p> <p>活動先は子どもの活動支援を行う取り組みであれば、活動内容および場所は問いません。活動の際は、各学校・施設の指導者等の指導を仰ぎ、多くの子どもたちと触れ合い、自らのスキル向上の糧としてください。最終的には、子どもの遊びイベントを計画し実践することを最終目標とします。</p>								
関連する科目	子ども支援地域活動Ⅰ、子どもと地域								
授業の方法と進め方	本授業は時間割で決められた時間に、決められた教室で学習するのではなく、地域を教室に、地域の資源（ひと・もの・ばしょ）を教材として学習します。履修後は、自らの時間を活用して、地域のボランティア活動に積極的に参加してください。								
授業計画【第1回】	1. 事前指導-オリエンテーション 本授業のねらいと概要についての説明をします。								
授業計画【第2回】	2~4. 学内・学外での活動に取り組む 学外にも積極的に取り組んでください。学校・幼稚園・保育園での活動にも挑戦します。 学外での活動が「8ポイント」以上になるようにしてください。								
授業計画【第3回】	2~4. 学内・学外での活動に取り組む 学外にも積極的に取り組んでください。学校・幼稚園・保育園での活動にも挑戦します。 学外での活動が「8ポイント」以上になるようにしてください。								
授業計画【第4回】	2~4. 学内・学外での活動に取り組む 学外にも積極的に取り組んでください。学校・幼稚園・保育園での活動にも挑戦します。 学外での活動が「8ポイント」以上になるようにしてください。								
授業計画【第5回】	5. 中間報告会 子ども支援地域活動Ⅰ履修学生とともに、活動中間報告をします。 グループ協議のリーダーとして協議の進行、まとめ役をします。また、質問に答えたり、助言を与えたりするなどピアサポートをします。								
授業計画【第6回】	6. 子どもの遊びイベント① 子ども支援地域活動Ⅰの学生とともに子どもの遊びイベントの活動計画・内容等の協議や準備を行います。 また、質問に答えたり、助言を与えたりするなどリーダーシップを発揮しながらピアサポートをします。								
授業計画【第7回】	7. 子どもの遊びイベント② 子ども支援地域活動Ⅰの学生とともに子どもの遊びイベントを実践します。 また、助言を与えたりするなどリーダーシップを発揮しながら実践します。								
授業計画【第8回】	8. 子どもの遊びイベント② 子ども支援地域活動Ⅰの学生とともに子どもの遊びイベントの振り返りをします。 助言を与えたりするなどリーダーシップを発揮しながら振り返りの協議をすすめます。								
授業の到達目標	(1) 子どもたちの育ちに地域が果たす役割を学術的・実践的に学ぶ【知識・技能】 (2) 子どもの活動を支援・主導するファシリテーターとしてのスキルの修得【判断・表現】								
学位授与の方針(DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)								
授業時間外の学習【予習】	子どもたちとの活動に備えて、ファシリテーターとしてのスキル（コミュニケーション、傾聴力など）や、危機管理能力の向上を図るようにしてください。また、子どもたちとの活動後は、振り返り（小レポート）をするようにしてください。								

授業時間外の学習 【復習】	子どもたちとの活動に備えて、ファシリテーターとしてのスキル（コミュニケーション、傾聴力など）や、危機管理能力の向上を図るようにしてください。また、子どもたちとの活動後は、振り返り（小レポート）をするようにしてください。
課題に対する フィードバック	中間報告（9月～12月）の際、活動状況について指導・助言します。また、中間報告時以外も必要に応じて、適時指導・助言を行います。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 地域活動記録カード-40点 2) 中間報告-20点 3) イベント企画への取組 -20点 4) 最終報告-20点
テキスト	必要に応じて資料を配布します。
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	* 中間活動報告：必修 9月～12月の期間中に、担当教員に中間報告（進捗状況の報告）を行ってください。  * 最終報告